



今年度も よろしくお願ひします

～令和3年度 新たな課題に挑戦します～

所長 今中 敏夫

今年は桜の開花が早く、満開の桜とともに令和3年度をスタートすることとなりました。昨年度の自然の家の状況を次のように整理し、今年度は新たな課題にも取り組もうと考えています。



4月1日の自然の家の桜 ↑ ↓

【犬島自然の家らしさ】

- ・自然環境がとてもよい
- ・規模が小さいからこそ、落ち着いて過ごせる
- ・カヤックや釣り、ストーンクラフトなど、様々な体験活動ができる
- ・主催事業はとても人気があり、参加者の皆さんに満足してもらっている

【昨年度の特徴】

- ・小規模の小学校3校から利用希望が入り、カヤック体験を実施したこと
- ・山南学園が犬島での学習を計画していること

【今年度の犬島自然の家の新たな方針】

- ① 学校園の利用を広めよう
- ② 山南学園の計画を応援しよう
- ③ 環境の中でゆったりと過ごし、心が満たされるような企画を実施しよう

これまで自然の家は、市民一般の皆さんの利用を目的としていましたが、これからは学校など教育機関からの利用も積極的に進めたいと考えています。特に③については、心の支えを必要とする子どもが安心して利用できるよう配慮した企画を考えています。「犬島に来てよかった」と一人でも多くの方に思ってもらえるよう努力していきます。ご理解とご協力のほどよろしくお願ひします。



＜楽しかったね ストーンクラフト＞

4月2日、造形教室「ゆうクラブ」の小中学生24人がストーンクラフトを楽しみました。絵や工作に興味のある皆さんでしたので、まつぼっくりや木の枝をうまく組み合わせたり、石の上にボンドで池を表現したりするなど、ユニークな作品を完成させていました。明るい声が学習棟に響き、自然の家としての今年度最初の活動がとても盛り上がったものとなりました。



＜主催事業一覧＞

日 程	イベント名	対 象	定員	参加費 (宿泊費・食事代等)	申込締切 (必着)
5月 29(土)～30(日)	シーカヤック・ストーンクラフト体験	小学4年生以上～大人 (小学生は保護者同伴)	約15人	大人3,000円 小人2,200円 (別途カック・クラフト代500円)	5月10日
7月 17(土)～18(日)	夏の星空観望	小学生～大人 (小学生は保護者同伴)	約20人	大人3,000円 小人2,200円	6月25日
8月 8(日)	犬島スクール(夏休みの宿題支援)	小学生 (小学生は保護者同伴)	約15人	大人小人各200円 (体験の希望は、別途料金)	7月16日
9月 18(土)～19(日)	犬島親子キャンプ	小学生～大人 (小学生は保護者同伴)	約40人	1人1,500円 (別途家族ごとサイト代1,000円 テント代1,500円)	8月27日
10月 23(土)・24(日)	初心者釣り体験(希望日23日、24日のどちらかを記入のこと)	小学生～大人 (小学生は保護者同伴)	両日とも 約30人	1人200円 (釣道具、エサは各自持参)	10月1日
11月 27(土)～28(日)	秋の釣り体験	小学生～大人 (小学生は保護者同伴)	約30人	大人3,500円 小人2,700円 (釣道具、エサは各自持参)	11月5日
12月 11(土)～12(日)	冬の星空観望	小学生～大人 (小学生は保護者同伴)	約20人	大人3,000円 小人2,200円	11月19日
3月 12(土)	犬島ウオーク	小学生～大人 (小学生は保護者同伴)	約20人	1人200円	2月18日

＜令和3年度 指導員紹介＞ どうぞよろしくお願ひします

- | | |
|----------------|-------------|
| 今中 敏夫 (所長 2年目) | 厚地 倫枝 (6年目) |
| 高島 徹 (4年目) | 小橋 成人 (3年目) |
| 田中 慎弥 (2年目) | 今田 真由美 (新任) |

【犬丸のあしあと】●船が宙に浮かんで見えました

1月6日朝、宝伝港の沖を通る船が、宙に浮かんでいるように見えました。いわゆる浮島現象です。

右の濃い島影は小豆島、船と小豆島間の薄い島影は淡路島です。宝伝港からこれほどはっきり淡路島が見えるのは、年に数回のことです。 (指導員・高島)





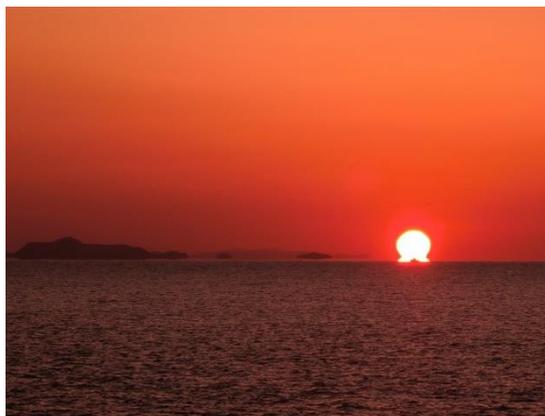
「だるま太陽」を犬島から撮影しました

～うっすらと見えるのは六甲山系？～

指導員 高島 徹

4月10日早朝、水平線から昇る太陽の形が、だるま状に見える現象、いわゆる「だるま太陽」を犬島精錬所美術館のチケットセンター脇で撮影することに成功しました。

これまでも宝伝港からは何度か撮影したことがある「だるま太陽」ですが、やっと犬島から撮影することができました。



だるま太陽の手前を通過中の船のシルエットも見えています。

太陽の左側の大小の濃い島影は、兵庫県の家島諸島ですが、よく見ると、さらにその奥に、うっすらと淡く陸地が写っています。雲のようにも見えますが、実はこの5日後に撮影した写真にも、同じものが写っていて、この日は、水平線ではなく、この陸地から朝日が昇ってきました。

地図で調べると、ちょうど兵庫県明石市の方角になります。この方角に大きな島はないので、六甲山系の山々ではないのかと考えられます。

3年前の10月の「犬丸だより」に宝伝港で撮影した「だるま太陽」を掲載し、「春になったら犬島で撮影した『だるま朝日』を紹介したい」と記事にしたものの、なかなかチャンスに恵まれず、やっと約束を果たすことができました。

緊急事態宣言下の犬島自然の家

～ピンチをチャンスに～ 所長 今中 敏夫

岡山県に緊急事態宣言が出され、犬島自然の家も5/15～6/20が閉所となりました。「カヤック・ストーンクラフト体験」と、今年度から始めた不登校の子どもたちを支援する「犬島スマイル体験」の第1回が中止となりました。犬島のよさを発揮する機会が少なくなり、とても残念に思いました。

しかし、このような状況だからこそできることもあると考え、普段なかなかできないことにも取り組みました。



まず、**環境美化**です。次のお客さんに少しでも気持ちよく利用してもらえるように、カヤック場の雑草やゴミを取り除きました。また、毎日利用させてもらっている犬島港付近の草取りもしました。

2つ目に、火災時の**避難訓練**の実施です。役割を分担して通報したり、お客様を安全に避難誘導したりする訓練をしました。しかし、実際の勤務では所員は数名しかおらず、特に夜間は一人で宿直していることがよくあります。その場合でも安全に非難できるよう、対応の手順について全員で話し合いました。

3つ目は、**学校との交流**です。山南学区の6年生と4年生がそれぞれ犬島での学習を計画していましたが、残念ながら来ることができませんでした。それならこちらから出かけて行こうと考え、幸島小学校と大宮小学校に行きました。



幸島小では、4年生の子どもに犬島の歴史や人びとの暮らしについてクイズを交えて話しました。目を輝かせながら聞いてくれました。大宮小では6年生の発表を聞きました。模造紙にまとめた内容も立派でしたし、発表の姿も堂々としていたので感心しました。どちらの学校の子どもたちからも、「ぜひ犬島に行ってみたい！」という声上がり、犬島をいっそう好きになってくれたように思いました。

コロナが収まり、犬島もにぎわう日が一日も早く来ることを願っています。

新メンバー紹介

5月1日から新たに指導員として、山崎隆正 が加わることになりました。10月末までの任期ですが、他の所員と同様によろしくお願いします。



「夏の星空観望」7月17日（土）・18日（日）

～写真でしか見たことのなかった土星の輪、実際に見て感動～

指導員 高島 徹

岡山商科大学附属高等学校の^{はた}昌教頭先生を講師に招いて、7月17日（土）・18日（日）に主催事業「夏の星空観望」を実施しました。

昨年度から、新型コロナウイルス対策として、右の写真のように家族ごとに底を切り抜いた紙コップを2個ずつ配り、望遠鏡や双眼鏡の接眼部に直接手などが触れないようにして年2回の星空観望の事業を実施しています。



1日目の夜は、夏の星座と月や土星の観察です。肉眼で夏の大三角などを確認し、望遠鏡や双眼鏡で上弦の月、土星、はくちょう座の二重星アルビレオ、ヘルクス座の球状星団M13を観察しました。

2日目の朝は、太陽と金星の観察です。右の写真のように投影板に太陽像を投影して黒点を観察したり、特殊なフィルターを使ってプロミネンスを観察したりしました。また、コンピューター制御された望遠鏡に金星を導入し、青空を背景に少し欠けた白い金星の姿も観察しました。



参加者からは、「これまで写真でしか見たことのなかった土星の輪を実際に見て感動しました。」「子どもたちに良い経験をさせることができました。今後もこのような体験会は継続していただきたいです。」などうれしい感想をたくさんいただきました。

「初心者釣り体験」10月23日（土）・24日（日）

～ 魚が釣れた感触って、どんな感じなのかな…?! ～

指導員 田中 慎弥

新型コロナウイルスの流行の影響で、犬島自然の家も8月20日から9月30日まで臨時休所し、9月の「犬島親子キャンプ」など、計画していた主催事業がいくつも中止になりました。

そのため10月23日（土）・24日（日）に実施した「初心者釣り体験」は、実に3か月ぶりの主催事業となりました。



「申し込みが多いので、当選確率が非常に低く、狭き門となっている。」「初心者に対し手厚い指導が行き届いていない。」といった昨年度の反省から、今回は、初心者重点をおいた日帰り釣り体験の行事を2度開催することにしました。

参加者は、初めて釣りを体験する家族ばかり。不安と大きな期待に胸を膨らませての参加です。開講式後に行った初心者講習会では、保護者も子どもたちも真剣な眼差しで聞き入り、しかけの結び方の練習にも一生懸命に取り組みました。

さて、いよいよ準備も整い、いざ釣りのポイントへ。うまく竿が振れるかなど不安のなか、まずは海に向かって第一投。あちらこちらで「アリヤリヤ」といった声>(*_*;)。初めてだから仕方ない。それでも、くじけることなく、ひたすら遠投に挑戦。みんな、みるみる上手になっていきました。

あとは魚が食いつくのを待っただけ。やがて竿を持つ手に何やらピクン、ピクンといった感触が。期待に胸を膨らませリールを巻く。「ヤッター！釣れた～」と大きな歓声が、あちらこちらから聞こえだしました。「これは何て魚?」、魚の名まえを聞くのも初めてです。キス、鯛の赤ちゃん(稚鯛)、チヌ、ハゼ、ベラ、セイゴ、中には秋を感じさせるカレイを釣った人も。さすが、犬島の魚種は豊富です。お家に帰ってどんな料理して食べるのかな？自分で釣った魚はおいしいよ！

参加者からは「親切丁寧に教えていただき、初めてなのに何のストレスなく釣りを楽しめました。」「日帰りの行事なので、参加しやすかった」など、大好評の感想をたくさんいただきました。



「秋の釣り体験」

～ 参加者のみなさんが寒さと強風を吹き飛ばしました ～

指導員 小橋 成人



11月27日(土)～28日(日)の1泊2日で「秋の釣り体験」を開催しました。「秋の釣り体験」は、夜釣りが体験でき、賞状や金銀銅メダルも用意してあるので犬島の主催事業の中でも、もっとも人気のある事業です。今年も100名を超える応募の中から、抽選で選ばれた10家族、27名の皆さんに参加していただきました。

<やる気満々の参加者の皆さん>

1日目は、強風と寒さで、釣りをするには最悪の天候になってしまいました。釣り時間の短縮も考えて様子を見ていましたが、だれも釣りを止める人がおらず、結局、予定の時間まで釣りをすることができました。夜釣りも相当寒かったのですが、予定どおり行うことができました。参加者のみなさんが風や寒さをもろともせず、釣りを楽しんでいる姿を見て、本当に犬島での釣りを楽しみにして参加してくださっているということがよくわかり、胸が熱くなりました。2日目は、風もなく穏やかな天候になったのでほっと胸をなでおろしました。

メバル、カサゴ、チヌ、タイ、ママカリ、ハゼ、サヨリ、アナゴ等、魚もたくさん釣れました。ありがとうございました。

来年は、寒さや風の心配がいらぬような時期に実施する予定です。



<40cm 超えチヌ 釣れました！>

「だるま太陽」の写真からの考察、「地球は丸かった！」

～ そしてやはり犬島から六甲山系が見えている ～

指導員 高島 徹

9月末から10月初めにかけては、宝伝から「だるま朝日」を撮影するチャンスです。右の写真は、私が今年10月2日に宝伝港で撮影したものです。

この写真について、「水平線までの距離は約5km。右の濃い島影は小豆島、その左奥の淡い島影は淡路島です…」などと、これまでは説明していました。

今回は、この写真をもとに、以前から気になっていたことをもう少し調べたり、考察したりしてみました。途中の計算等は省いて、結果のみ紹介します。

実は、この写真の日の出の位置には、なんと淡路島がすでにあり、しかも標高300m前後の山もいくつかあることが判明したのです。そこで調べてみると、宝伝から淡路島までは約77kmあり、この距離では、地球が球形であることを考慮した場合、標高が約465m以上ない山は、水平線上に現れることがないということがわかりました。どうやらこの写真に写っている淡い島影は、淡路島にある妙見山(標高522m)という山の山頂付近のみのようです。

次の疑問は、今年度の第2号で紹介した犬島から撮影した「だるま朝日」の写真についてです。「家島諸島の奥にうっすらと写っているのは、六甲山系」と推測しましたが、本当に犬島から六甲山系が見えるのでしょうか。ずっと気になっていたもので、これについても調べてみました。

犬島から六甲山までの距離は約108km。計算してみると、標高915m以上の山なら、犬島からでも見る事ができることがわかりました。ただしこの計算は、地球の大気による浮き上がりを考慮していないので、実際には、もう少し標高が低くても見る事が可能なはずで、そこで早速、六甲山頂の標高を調べてみると、931m。これなら十分、犬島から見えることがわかり、ほっとしました。



令和3年度	岡山市立犬島自然の家	〒704-8153
第5号	犬丸だより	岡山市東区犬島 119-1
1月10日発行		TEL 086-947-9001
		FAX 086-947-9303

あけまして おめでとうございます

～ 今年もどうぞよろしく願いいたします ～

所長 今中 敏夫

新しい年がやってきました。今年は寅年。「成長」とか「始まり」という意味があるそうです。トラのように力強く気品のある生き方をしたいものです。今年、犬島では瀬戸内芸術祭もあります。これからも様々なことにトライして頑張っていきたいと思います。今年も自然の家の活動に対し、ご理解とご支援をどうぞよろしく願いします。

<12/23餅つきをしました>

2年前までは島民の方と一緒にしていた行事ですが、コロナ禍ということで、前年から餅つき機を使って所員だけでつくようにしました。前回の経験を活かし、今回はいっそう段取りよくできたように思います。

日本では古くから、おめでたいことがあると餅をついてお祝いをしてきました。特にお正月の鏡餅には神様の魂が込められており、生命力があるとされています。この鏡餅を家の主が分けて家族に与えたのが、お年玉のはじまりです。そしてそれをお雑煮にして食べるのがお正月の習わしとなった、とされています。



これからもますますお元気でおだやかな毎日を過ごしてほしいと願いながら、つくたてのお餅を島の方にお配りしました。

<自然の家 所員の今年の抱負>

- ◎ 瀬戸内芸術祭にはたくさんのお客さんに来てもらいたい。期間中忙しくなるだろうが、がんばって乗り切ろう！
- ◎ 主催事業の参加者に満足してもらえよう、企画を一層充実させよう！

「冬の星空観望」12月11日（土）・12日（日）

～ ニュースで話題のISSも！ ～



12月11日～12日に岡山商科大学附属高校教頭の畠先生を講師に招いて、「冬の星空観望」を開催しました。

開講式の後、早速、木星・金星・土星・天王星・海王星を観察しました。土星の輪やガリレオ・ガリレイが発見した木星の衛星も望遠鏡で確認することができました。この日、

初の日本民間宇宙飛行士が滞在するというで話題の、ISS(国際宇宙ステーション)も肉眼で見ることができました。

22時を過ぎたころ、月面のクレーターに太陽があたり、ちょうどXの形に浮かび上がって見える月面Xを観察しましたが、雲が多く、残念ながら希望者全員が見ることは叶いませんでした。

二日目に予定していたのは太陽とレナード彗星ですが、夜からの雲が晴れず、どちらも観察は見送ることになりました。かわりに畠先生が楽しい星のお話をしてくださいました。

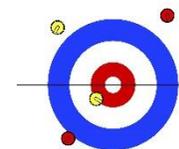
参加者からは、「話題のISSを肉眼で見るという貴重な体験ができた。」「土星の輪や木星の衛星が見られて感動した。」などの感想をいただきました。



犬丸のあしあと ●カーリングのストーンは島の石

これはカーリングをしている知人から聞いた話です。

オリンピックなど国際大会では、カーリングのストーンはイギリスのアルサグレイグ島産の花こう岩を使用するというルールがあるそうです。犬島も花こう岩の島。何となくうれしい話です。
(指導員 高島)



令和3年度	岡山市立犬島自然の家	〒704-8153
第6号	犬丸だより	岡山市東区犬島 119-1
3月20日発行		TEL 086-947-9001
		FAX 086-947-9303

令和3年度をふりかえって 所長 今中 敏夫

早いもので、犬島自然の家の令和3年度が終わろうとしています。今年度も、やはりコロナに大きく影響された1年でした。しかしその中でも、いくつかの手ごたえを感じることもできました。

<主催事業>

釣りは大変人気のある行事です。今年は初心者を対象とした**日帰り釣り教室**を2日、そして一泊の**秋の釣り大会**を経験者対象として実施しました。こうすることでより多くのお客さんに参加していただくことができたとともに、初心者の方にも手厚く対応することができました。「やった、釣れた!」と会心の笑みで喜ぶ姿をたくさん見られたのは私たちにとって最高の喜びでした。

また、**星空観望**も大変人気のある行事です。今年も夏と冬の2回行うことができました。犬島では肉眼で見ても星はきれいです。白鳥座を見つけ夏の大三角形をさがし、夜空の雄大さを感じました。天体望遠鏡で土星の輪や木星の衛星を自分の目で見て、宇宙の神秘、美しさを実感することもできました。

<体験活動>

昨年度から、学校行事として参加してくださる小学校が増えてきました。今年度も**カヤック体験**を希望して3校の申し込みがありました。今年度は打ち



<カヤック初体験!>

合わせから当日までの連絡を昨年度以上に丁寧に行い、学校を受け入れる体制も整えていきました。「おもしろかった!」「また来たい!」という小学生の声に、私たちの疲れも吹き飛びました。

今年度、親子キャンプをはじめ、楽しみにしていたいくつかの企画を、コロナの関係でやむを得ず中止としました。来年度はすべて計画どおり実施できるよう願いたいものです。

「犬島ウォーク」

～ 晴天の犬島を堪能 ～

指導員 厚地 倫枝

3月12日(土)、今年度最後の主催事業「犬島ウォーク」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、青空の犬島を散策できました。

まずは、講師の在本桂子さんにお越しいただき「犬島物語～犬島の歴史と文化」についてお話をしてもらいました。長い犬島の歴史を語るには短い時間ではありましたが、1万年以上前の貝塚の発見から、アートの島としての現在までをスライドを



用いて語っていただきました。

続いてはグループに分かれて島の散策です。天満宮や歌碑などの歴史を感じる箇所や、あちこちに点在するアート作品など、犬島の魅力をたっぷり味わっていただきました。特にアート作品では「映えスポット」として参加者それぞれに思い思いの写真を撮影していました。



犬島のことをより深く伝えることができたと感じました。

<参加者の感想>

- ・資料等で事前知識を得た直後での散策でより身近に楽しめました。
- ・多くの人と久しぶりにお話ができました。

犬丸のあしあと ●望遠鏡のメンテナンス完了

3月9日と10日、専門業者の方に天体観測室の望遠鏡のメンテナンスをしていただきました。

新型コロナウイルスの流行が収まり、多くの方に犬島の星空を楽しんでいただける日が、一日も早く訪れることを望んでいます。 (指導員 高島)

